

2017年3月分データの様式1に入力された未コード化傷病名一覧
 (コード化された傷病名がある未コード化傷病名は機械的に除外)

医療資源最傷病名	件数	病院数
右黄斑上膜	11	6
左黄斑上膜	14	4
尿管管遺残	4	4
左視床梗塞	5	3
僧帽弁および大動脈弁の合併障害	4	3
心のう液貯留	3	3
埋込型除細動器電池消耗	8	2
胆嚢結石症	4	2
肝弯曲部腺腫	3	2
僧帽弁、大動脈弁および三尖弁の合併障害	3	2
僧帽弁および三尖弁の合併障害	3	2
多発性骨転移	3	2
直腸S状結腸移行部腺腫	3	2
副腎機能不全症	3	2
縊首	3	2
脾弯曲部腺腫	3	2
クラウンデンス症候群	2	2
グラフト閉塞	2	2
院外心肺機能停止	2	2
右重症下肢虚血	2	2
化学性肺臓炎	2	2
気管孔狭窄	2	2
偽性アルドステロン症	2	2
胸腰椎変性後側弯症	2	2
胸水	2	2
左卵巣皮様のう腫	2	2
心肺機能停止	2	2
神経核内封入体病	2	2
潜在性二分脊椎の疑い	2	2
多発肝転移	2	2
虫垂粘液のう腫	2	2
尿道狭窄	2	2
発作性心房粗細動	2	2
房室結節リエントリー性頻拍	2	2
迷走神経反射の疑い	2	2
膀胱浸潤	2	2
慢性冠動脈完全閉塞	12	1
シャントトラブル	11	1
仙腸関節障害	9	1
胎児ストレスのその他の所見を合併する分娩	7	1
不当重量児(>+1.5SD)	5	1
右黄斑上膜形成症	4	1
左黄斑上膜形成症	4	1
神経因性骨盤臓器症候群	4	1
二分脊椎の疑い	4	1
不当重量児	4	1
シャント閉塞	3	1
右腎結石	3	1
筋の消耗および萎縮,他に分類されないもの 下腿	3	1
筋の消耗および萎縮,他に分類されないもの 多部位	3	1
広汎性胃境界部病巣がん	3	1
産褥	3	1
子宮筋層内筋腫	3	1
循環器系疾患の疑い	3	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
椎間孔の骨性狭窄(症) 腰部	3	1
透析内シャント機能低下	3	1
慢性胆嚢炎を伴う胆のう結石	3	1
膀胱の悪性新生物 膀胱の境界部病巣	3	1
AML(M2)	2	1
Rh陰性の母体から出生した児	2	1
クリッペル・トレノーネイ・ウェーバ症候群	2	1
シャント瘤	2	1
圧迫を伴う臍帯頸部巻絡を合併する分娩	2	1
右頭頂葉梗塞	2	1
右母指対立障害	2	1
右卵巣皮様のう腫	2	1
黄斑前膜	2	1
過敏性肺臓炎(複数要因あり)	2	1
急性心臓死	2	1
急性腎盂炎	2	1
胸部皮下感染症	2	1
筋層内筋腫	2	1
血管炎	2	1
左シャント不全	2	1
左腎結石	2	1
左側非触知精巣	2	1
重症下肢虚血	2	1
処置後感染症	2	1
食道境界部病巣がん	2	1
声門下膜様狭窄	2	1
胎児機能不全・36週	2	1
大動脈弁・三尖弁合併障害	2	1
大動脈弁狭窄兼僧帽弁閉鎖不全	2	1
中等症子かんく瘤>前症	2	1
透析シャント機能不全	2	1
頭蓋骨転移	2	1
内シャント狭窄	2	1
内シャント狭窄症	2	1
内視鏡施行後の消化器系合併症	2	1
脳刺激装置電池消耗	2	1
腹腔内播種	2	1
母体感染症	2	1
慢性胆嚢炎を伴う胆嚢結石症	2	1
両重症下肢虚血	2	1
両側重症下肢虚血	2	1
両側瞼裂狭小症	2	1
(四)肢不等長(後天性)骨盤部および大腿	1	1
12番環状染色体症候群	1	1
27週胎児機能不全	1	1
9q34欠失症候群	1	1
B群溶連菌感染母体	1	1
EBウイルス性単核症	1	1
ESD後幽門輪狭窄	1	1
S状結腸LST[悪性]	1	1
ウェスト症候群	1	1
ウテメリン投与母体児	1	1
ウブレチドの副作用	1	1
エフェドリン誤飲	1	1
カルバマゼピン副作用	1	1
けいれん重積状態	1	1
シャントステール症	1	1
シャント破裂	1	1
シュニツラー転移	1	1
ションカテーテルの閉塞	1	1
ステロイド誘発気分障害	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
ステント狭窄	1	1
ステント留置後穿孔	1	1
その他の殺虫剤の毒作用	1	1
その他の続発性(脊柱)後弯(症) 胸腰部	1	1
その他の特異的な有機粉塵による気道疾患	1	1
その他の明示された筋障害 骨盤部および大腿	1	1
その他の明示された筋障害(骨盤部および大腿)	1	1
タコツボ心筋障害	1	1
チャークストラウス症候群	1	1
チャウグ・シュトラウス症候群	1	1
チョコレート嚢腫	1	1
ナボット嚢胞	1	1
パーキンソン類縁疾患	1	1
パテラクラック症候群	1	1
びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不	1	1
プルネル腺過形成	1	1
ペースメーカ不調の疑い	1	1
ペースメーカーポケット部皮膚菲薄化	1	1
ペースメーカーリード線離脱	1	1
ペースメーカーリード不全	1	1
ペッサリー抜去困難	1	1
ポート感染	1	1
マイクロジオティック病	1	1
マロリワイス症候群(処置に伴う)	1	1
むずむず脚症候群	1	1
リスベリドン過量内服	1	1
リンパ増殖性疾患	1	1
胃・十二指腸血管異形成症	1	1
胃の血管形成異常症	1	1
胃管穿孔	1	1
胃血管拡張症	1	1
胃血管形成異常	1	1
胃術後症候群	1	1
胃壁播種	1	1
咽頭びらん	1	1
陰茎前位陰嚢	1	1
陰嚢水腫	1	1
右(四)肢骨の内固定材の機械的合併症	1	1
右烏口鎖骨靭帯断裂	1	1
右遠位橈尺関節障害の術後	1	1
右下降精巣がん術後局所再発	1	1
右下肢動脈グラフト閉塞	1	1
右下肢内固定材位置異常	1	1
右下肢窩織蜂炎	1	1
右下肢皮膚欠損	1	1
右下肢蜂巣織炎	1	1
右下肢末梢から足の皮膚剥皮創	1	1
右環指伸筋腱不全断裂	1	1
右距骨・踵骨間癒合症	1	1
右胸膜プラーク	1	1
右結腸軸捻転症	1	1
右肩関節内固定材感染	1	1
右示指指尖部異物	1	1
右尺骨神経背側枝断裂	1	1
右術後性上顎篩骨のう胞	1	1
右上腕シャント閉塞症	1	1
右人工骨頭置換術後感染	1	1
右人工膝関節後の拘縮	1	1
右精巣梗塞	1	1
右精巣上体精子肉芽腫	1	1
右精巣垂捻転	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
右前十字靭帯再断裂	1	1
右前頭葉乏突起膠腫	1	1
右前腕シャント不全	1	1
右側異所開口尿管の疑い	1	1
右側先天性下腿彎曲	1	1
右側変形性股関節	1	1
右足関節滑膜のう腫	1	1
右足関節前方後方インピンジメント症候群	1	1
右大腿骨骨肉種	1	1
右大腿部創外固定破損による骨内異物	1	1
右第4斜趾症	1	1
右第8肋骨浸潤	1	1
右中指粘液嚢腫	1	1
右中大脳動脈梗塞症	1	1
右腸骨動脈閉塞症	1	1
右凍結肩	1	1
右頭頂部・右肩部・胸部・両腸骨部・左下腿打撲	1	1
右内側半月板後節変性	1	1
右乳突洞炎	1	1
右肺上葉肉芽腫	1	1
右母指対立機能障害	1	1
右卵巣チョコレート嚢腫腫破裂	1	1
右卵巣悪性顆粒膜細胞腫	1	1
右踵舟関節癒合症	1	1
右崮径部皮下感染症	1	1
運動・感覚性ニューロパチー	1	1
栄養性身体的発育遅滞	1	1
永久気管孔狭搾	1	1
遠位橈尺関節不安定症	1	1
横行結腸浸潤	1	1
横行結腸腹膜垂炎	1	1
下腿筋痛	1	1
下部消化管穿孔	1	1
下部胆管狭窄	1	1
会陰創部離開	1	1
回避・制限性食物制限症	1	1
回盲部周囲炎	1	1
開頭術後の骨欠損[骨形成]	1	1
冠動脈起始異常	1	1
肝機能異常	1	1
肝転移	1	1
肝転移術後再発	1	1
眼瞼下垂	1	1
顔面骨プレート突出	1	1
機能性胃腸症の疑い	1	1
気管切開後肉芽腫	1	1
急性胃十二指腸粘膜病変	1	1
急性胸部下行大動脈解離	1	1
急性左主幹部梗塞	1	1
急性食道粘膜病変	1	1
急性胆嚢炎を伴う胆のう結石	1	1
急性胆嚢炎を伴う胆嚢結石	1	1
急性腸管虚血	1	1
巨大肺嚢胞症(巨大プラ)	1	1
巨大卵巣粘液性嚢胞腺腫	1	1
強直間代重積発作	1	1
胸腔内遊離体	1	1
胸腰椎後縦靭帯骨化症	1	1
胸骨の内固定材の合併症	1	1
胸骨ワイヤーの突出	1	1
胸骨ワイヤー固定部感染症	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
胸骨ワイヤー突出	1	1
胸髄炎	1	1
胸部大動脈解離StanfordA型	1	1
筋性胸椎後側弯症	1	1
頸椎後縦靱帯骨化症	1	1
結腸人工肛門重積脱出	1	1
血管炎症候群	1	1
血管炎症候群の疑い	1	1
血管透析カテーテルの機能低下	1	1
血管透析カテーテル狭窄	1	1
血清反応陽性リウマチ・膝関節(合併症なし)	1	1
血栓性視床梗塞	1	1
後縦靱帯骨化症・胸部	1	1
後天性四肢不等長(大腿)	1	1
後腹膜のう胞	1	1
口腔粘膜炎	1	1
喉頭気管食道裂	1	1
好酸球性腸症の疑い	1	1
好酸球増多症候群	1	1
抗凝固剤副作用	1	1
硬口蓋細管状腺腫	1	1
高度異型上皮	1	1
高度肥満	1	1
腰椎カリエス	1	1
腰椎後側弯症	1	1
腰椎隣接椎間障害	1	1
骨格性咬合不全	1	1
骨端線離開	1	1
骨盤およびその他の軟部組織の良性新生物	1	1
骨盤骨多発折	1	1
骨盤内リンパ嚢腫	1	1
骨盤内偽嚢胞	1	1
骨盤内軟部組織再発	1	1
左シャント閉塞症	1	1
左下肢ステント内閉塞	1	1
左下腿部のう胞破裂	1	1
左眼内バックル脱出	1	1
左急性化膿性扁桃腺炎	1	1
左胸膜プラーク	1	1
左肩関節不安定症	1	1
左股関節および下肢第2度腐食	1	1
左示指指神経障害	1	1
左重症下肢虚血	1	1
左小脳脳橋角部肉芽腫	1	1
左上顎周囲炎	1	1
左上肢クリッペル・トレノーネイ・ウエーバ症候群	1	1
左上肢旧透析シャント部感染症	1	1
左上葉肺内型気管原性のう胞	1	1
左上腕骨の単発性骨のう胞	1	1
左上腕骨の内固定材の機械的合併症	1	1
左人工股関節MRSA感染	1	1
左人工骨頭感染	1	1
左前十字靱帯再断裂	1	1
左前十字靱帯術後再断裂	1	1
左鼠径ヘルニア嵌頓	1	1
左足関節滑液嚢胞	1	1
左足関節三角骨障害	1	1
左足先天性欠損	1	1
左足背第3度腐食	1	1
左足趾基節骨変形癒合	1	1
左大腿骨固定スクリュー破損	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
左大腿内固定材感染	1	1
左大伏在静脈弁閉鎖不全	1	1
左第1・2・3・4・5指伸筋腱癒着	1	1
左第1趾伸筋腱癒着	1	1
左第2・3・4・5趾趾変形	1	1
左中指粘液のう腫	1	1
左腸骨動脈閉塞症急性増悪	1	1
左凍結肩	1	1
左内側半月板後節断裂	1	1
左肺下葉肺肉芽腫	1	1
左眉毛部外側デルモイドシスト	1	1
左膝窩動脈外膜のう腫	1	1
左表在化動脈機能不全	1	1
左福耳	1	1
左分枝粥腫型梗塞(BAD)	1	1
左網膜全剥離	1	1
左腕神経叢麻痺	1	1
左腕頭静脈閉塞症	1	1
左脛骨遠位骨端線離開	1	1
左脛骨遠位骨端線離開の術後	1	1
産じょくく褥>における脊髄麻酔および硬膜外麻酔のその他の合併症	1	1
産科的手術後子宮感染症	1	1
四肢骨の内固定材の機械的合併症	1	1
姿勢性胸腰椎後側弯症	1	1
子宮外頸部上皮内がん	1	1
子宮頸内膜の悪性新生物	1	1
子宮頸部のう胞	1	1
子宮頸部のその他の異常の為の母体ケア(37週)	1	1
子宮頸部上皮内新生物3度	1	1
子宮収縮抑制不能	1	1
子宮切除後膣断端脱	1	1
子宮内避妊器具による骨盤内感染症	1	1
子宮復古不全	1	1
思春期特発性(脊柱)側弯(症)(胸腰部)	1	1
自己免疫性自律神経グングリオノパチー	1	1
若年性特発性(脊柱)側弯(症) 胸部	1	1
縦隔リンパ節再発	1	1
術後カテーテル機能不全	1	1
術後気管切開孔開存	1	1
術後縦隔洞炎	1	1
術後食道狭搾	1	1
術後性右上顎のう胞	1	1
術後創感染	1	1
術後創部離解	1	1
術後腸管狭窄	1	1
術中穿孔	1	1
純粹自律神経機能不全症	1	1
処置後の骨欠損	1	1
処置後異物体内遺残	1	1
処置後皮膚欠損	1	1
小腸閉塞	1	1
小脳脊髄変性	1	1
消化管通過障害	1	1
上位胸椎黄靱帯石灰化症	1	1
上部消化管穿孔	1	1
上部消化管穿孔の疑い	1	1
植込み型除細動器電池消耗	1	1
植込型カテーテルポート感染	1	1
植込型除細動器誤作動	1	1
食事性栄養欠乏症	1	1
食道異型上皮	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
食道異形成	1	1
食道胃接合部がん	1	1
食道浸潤	1	1
食物摂取成分の不均衡	1	1
心因性感覚障害	1	1
心室中隔欠損術後	1	1
心嚢液貯留	1	1
新生児呼吸窮迫症候群	1	1
神経筋疾患	1	1
神経筋疾患の疑い	1	1
神経根障害を伴う腰部椎間板障害	1	1
進行性胃境界部病巣がん再発	1	1
人工血管閉塞	1	1
人工弁周囲逆流	1	1
腎周囲炎	1	1
腎臓内動脈硬化	1	1
睡眠薬の過剰効果	1	1
声門下狭窄	1	1
静脈ポート感染症	1	1
脊柱後側湾症	1	1
脊椎固定材の破損	1	1
赤芽球癆	1	1
舌根部異物	1	1
仙骨部のう腫(嚢腫)	1	1
仙骨部皮膚陥凹	1	1
先天性萎縮精巣	1	1
先天性甲状腺機能低下	1	1
先天性尺骨短縮	1	1
先天性中枢性低換気症候群	1	1
全身性血管炎	1	1
全身性打撲	1	1
組織代用人工線維布位置異常	1	1
蘇生後脳障害	1	1
僧帽弁・三尖弁合併障害	1	1
僧帽弁閉鎖不全および大動脈弁閉鎖不全および三尖弁閉鎖不全	1	1
僧帽弁閉鎖不全兼大動脈弁閉鎖不全兼三尖弁閉鎖不全	1	1
巣状分節状系球体硬化症	1	1
足の先天(性)変形, 詳細不明	1	1
多系統萎縮	1	1
多血球異形成を伴う不応性血球減少症	1	1
多発性大腸管状腺腫	1	1
多発打撲	1	1
胎児機能不全(心拍数異常)合併する分娩	1	1
胎児機能不全40週	1	1
胎児消化管異常	1	1
胎児胎盤機能不全・38週	1	1
胎児胎盤機能不全・39週	1	1
大腸過形成ポリープ	1	1
大腸浸潤	1	1
大腸側方発育型腺腫	1	1
大腸閉塞	1	1
大動脈肺動脈側副血行	1	1
大網裂孔ヘルニア嵌頓	1	1
第11胸椎遷延癒合	1	1
第12胸椎第1腰椎癒合不全	1	1
第4・5腰椎椎間板外側ヘルニア	1	1
第9・10胸椎固定隣接障害	1	1
胆管カテーテル抜去	1	1
胆石発作	1	1
胆嚢炎を伴うコレステロール胆嚢結石	1	1
胆嚢結石(急性胆嚢炎を伴う)	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
胆嚢腺筋症	1	1
遅発性腰部麻痺	1	1
中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リ	1	1
中枢性リンパ増殖性疾患	1	1
中大脳動脈梗塞症	1	1
虫垂の盲腸癒着	1	1
腸管のう腫様気腫症	1	1
腸管気腫性のう胞症	1	1
腸管嚢腫様気腫症	1	1
腸管嚢胞状気腫症	1	1
腸間膜浸潤の疑い	1	1
腸間膜捻転	1	1
腸骨動脈ステント留置後再狭窄	1	1
直腸S状部穿孔の術後	1	1
直腸肉芽腫	1	1
適正に投与された薬物の副作用	1	1
殿部皮膚組織感染症	1	1
電気神経刺激装置電池消耗	1	1
灯油誤飲	1	1
透析グラフト仮性瘤	1	1
透析シャント血栓症	1	1
透析シャント部血清腫	1	1
頭蓋骨プレート感染症	1	1
頭蓋骨プレート露出	1	1
頭蓋骨早期癒合症	1	1
動注ポート感染	1	1
動脈管早期閉鎖	1	1
動脈管閉存症	1	1
洞性頻脈(薬剤性)の疑い	1	1
特発性リンパ瘻	1	1
内シャント閉塞	1	1
内因性心臓死の疑い	1	1
内頸動脈痛	1	1
内固定材による感染	1	1
内視鏡検査中咽頭穿孔	1	1
乳頭機能不全	1	1
乳頭機能不全の疑い	1	1
尿管ステント位置異常	1	1
尿管結石	1	1
尿路カテーテルの機械的合併症	1	1
尿路留置カテーテルの機械的合併症	1	1
背部創部感染	1	1
肺うっ血	1	1
白血球破壊性血管炎	1	1
白血球破砕性血管炎	1	1
肥満関連腎症	1	1
非定型抗酸菌感染症	1	1
非破裂性右椎骨動脈解離	1	1
非破裂性左椎骨動脈解離	1	1
非閉塞性腸管虚血	1	1
鼻咽腔閉鎖不全症	1	1
不規則抗体陽性妊婦から出生した児	1	1
不当軽量児	1	1
部分発作重積状態	1	1
副腎機能不全の疑い	1	1
腹腔内のう胞	1	1
腹腔内転移	1	1
腹部リンパ節再発	1	1
分娩	1	1
吻合部離開	1	1
閉鎖性心臓振盪	1	1

医療資源最傷病名	件数	病院数
母体の感染症により影響を受けた母体児	1	1
乏精子症	1	1
房室回帰性結節性頻拍	1	1
埋込型心電計電池消耗	1	1
慢性胃腸障害	1	1
慢性気道感染の急性増悪	1	1
慢性気道感染症急性増悪	1	1
慢性胆嚢炎を伴う胆石症	1	1
慢性肺疾患	1	1
眠剤による脱力	1	1
盲腸捻転症	1	1
盲腸部憩室症	1	1
薬剤性胸水	1	1
薬物誤飲(カルシウム拮抗薬)	1	1
羊水過少	1	1
卵巣粘液性嚢胞腺腫	1	1
卵巣漿液性のう胞腺腫	1	1
両先天性上眼瞼下垂	1	1
両先天性鼻涙管閉塞症	1	1
両側チョコレート嚢腫	1	1
両側下腿リベド血管炎	1	1
両側尿管結石	1	1
両大血管右室起始	1	1
両内眼角贅皮	1	1
両肘肘頭窩低形成障害	1	1
腕神経叢麻痺	1	1
腕頭動脈による気管狭窄	1	1
哺乳後嘔吐	1	1
哺乳不良	1	1
瞼裂狭小症	1	1
縊頸	1	1
腱癒着	1	1
膀胱内メッシュ露出	1	1
膝(臓)浸潤	1	1
膝仮性のう胞	1	1
膝管チューブ感染の疑い	1	1

調整係数について（その3）

1. 背景

- これまでの分科会において、調整係数の置き換えに係る激変緩和措置について、マイナス緩和措置については、1年間に限りこれまでと同様に、診療報酬変動率が-2%となるような措置を行う方針で検討が進んでいる。
- プラス緩和とマイナス緩和は措置が必要となる観点が異なるため、プラス緩和措置についての今後の取扱いについて検討する。

2. 具体的な検討

(1) プラス緩和措置の対象となる要因

- 調整係数の置き換え完了後、医療機関別係数は基礎係数及び機能評価係数Ⅱで構成されることとなる。
- 医療機関群の変更による基礎係数の変化や、医療機関の取組や報酬改定による機能評価係数Ⅱの変化等により、推計診療報酬変動率が増加することが考えられる。
- これまでプラス緩和措置の対象となった医療機関の暫定調整係数は、DPC/PDPS参加時の診療密度が低いことを要因として低くなる傾向があり、負の値をとることもある（参考P2）。低い暫定調整係数が機能評価係数Ⅱに置き換わるため、その差が大きい場合、プラス緩和の対象となる可能性が高くなる。

(2) プラス緩和措置の対象となった医療機関の実態

- これまでにプラス緩和措置を受けた医療機関は124存在し、その中には複数回プラス緩和措置を受ける病院も存在する。（参考P3）
- プラス緩和措置対象の約75%が200床未満の医療機関であり（参考P4）、DPC算定病床数が10に満たない医療機関も存在する。
- 全病床に占めるDPC算定病床の割合を比較すると、DPC算定病床の占める割合が小さい傾向がある（参考P5）。
- 基礎係数の影響については、医療機関群がⅢ群からⅡ群に変更した医療機関のうち、変更となった診療報酬改定においてプラス緩和措置の対象となった医療機関が1病院存在する。
- 調整係数が全て機能評価係数Ⅱに置き換わったと仮定した場合の推計結果からは、調整係数置き換え完了後も、一部の医療機関については推計診療報酬変動率が+2%を超えて高くなることが考えられる。その場合、病床数の少ない医療機関が多い傾向がある（参考P6）。
- 制度参加時にプラス緩和となった医療機関は、制度参加後さらに診療密度が低くなる傾向がある（参考P7）。

- 診療実態として平均在院日数が長く（参考 P8）、診療密度は低い（参考 P9）傾向が見られた。

（3） 検討

- 医療機関の取組により、機能評価係数Ⅱが高くなったケースについて、これまでと同じプラス緩和措置を行うことは、適切な評価とはならない可能性がある。
- プラス緩和措置の対象となる医療機関は、病床数が少ないなどの一定の傾向は見られるが、400床以上の医療機関も存在するなど様々であり、これらの要因を特定することは困難である。
- 包括報酬が適用される医療機関について、診療密度（包括点数に対する包括範囲出来高点数の比）が相対的に著しく低い場合、診療内容の適切性について検討が必要である（粗診粗療の懸念がある）。
- 診療密度、平均在院日数ともに大きく外れる医療機関が6存在するなど、プラス緩和措置対象病院も含め、診療密度、平均在院日数が一定の水準から大きく外れるDPC対象病院の存在が明らかとなった（参考 P8,9,10）。
- DPC/PDPSは、参加医療機関の実績から診断群分類として平均的な医療資源投入や在院日数を設定しており、平均から大きく外れて診療密度が低い、平均在院日数が長い、等の診療実態がある医療機関については、何らかの対応が求められることが示唆された（制度になじまない可能性がある）。

（4） 論点

- 診療報酬改定時に推計診療報酬変動率が大きい医療機関について、どう考えるか。
- 診療密度や平均在院日数が平均から大きく外れる医療機関のDPC/PDPSによる評価について、どう考えるか。

3. 対応方針（案）

- プラス緩和措置についても、一定以上の推計診療報酬変動に対して、これまでと同様な激変緩和措置を継続することは、医療機関の取組に対する適切な評価とならない可能性がある一方で、プラス緩和となる要因は医療機関により様々であり、その要因を特定することは困難である。

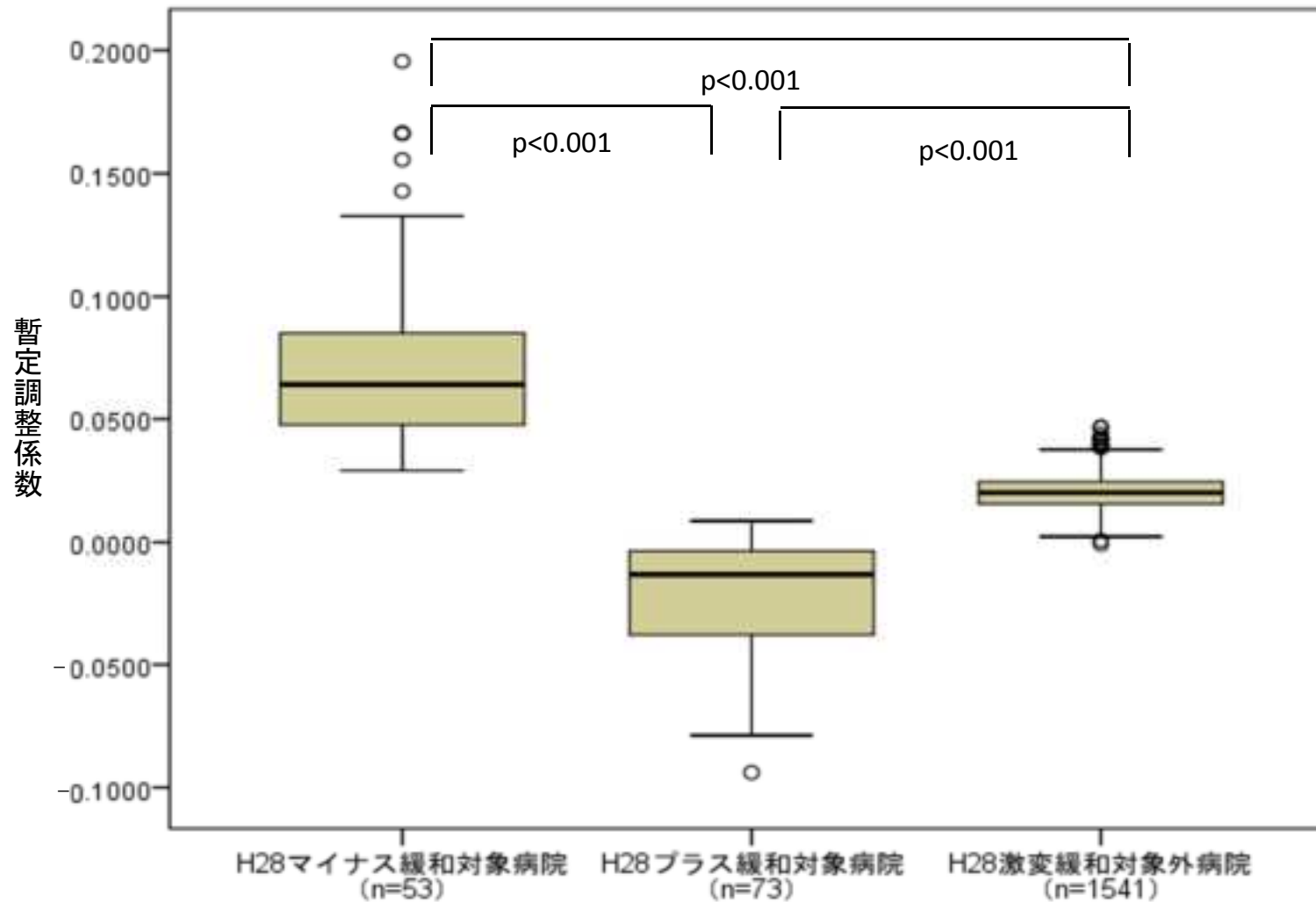
一方、一連の検討で判明した、診療密度や平均在院日数等が平均から大きく外れる医療機関について、DPC/PDPSの評価対象として適切ではない可能性があることも踏まえ、退出も含めた制度での対応について、引き続き検討してはどうか。

- 上記の検討も踏まえながら、プラス緩和措置を行う場合の対応としては、マイナス緩和措置と同様、改定直後の年度においては、診療報酬変動率の最大が+2%となるような従前の激変緩和措置を行い改定の翌年度においては、激変緩和措置を行わないこととしてどうか。

調整係数

暫定調整係数の分布(平成28年度)

- ・各グループで暫定調整係数の分布は差がある。
- ・これら暫定調整係数が、機能評価係数Ⅱと置き換わるため、平成30年度改定においても、これまでプラス緩和措置対象となった医療機関は、推計診療報酬変動率は大きくなる(プラス緩和対象となる)可能性が高い。



激変緩和措置対象となった病院数

激変緩和措置対象となった病院の内訳

	平成24年	平成26年	平成28年	合計※3	3回連続措置対象	
					3回連続措置対象	いずれか2回措置対象
マイナス緩和措置※1	8	53	53	74	5	30
プラス緩和措置※2	34	82	73	124	18	29

- ※1 マイナス緩和措置：診療報酬改定時に推計報酬変動率がマイナス2%より低く変動する医療機関について、変動率がマイナス2%となるよう暫定調整係数を引き上げている病院
- ※2 プラス緩和措置：診療報酬改定時に推計報酬変動率が2%より高く変動する医療機関について、変動率が2%となるよう暫定調整係数を引き下げている病院
- ※3 重複を除いている

DPC算定病床数別及び医療機関群別の激変緩和措置対象となった病院数

これまでに激変緩和措置対象となった全病院のDPC算定病床数別(平成28年4月時点)の病院数

	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	合計
マイナス緩和措置	24	14	13	8	7	8	74
プラス緩和措置	54	39	19	9	2	1	124

75%

これまでに激変緩和措置対象となった全病院の医療機関群別(平成28年4月時点)の病院数

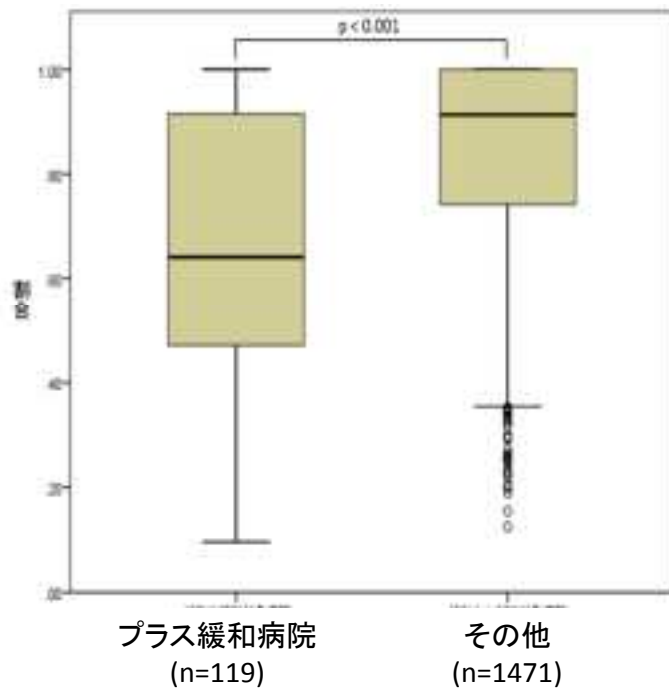
	I群	II群	III群	合計
マイナス緩和措置	1	4	69	74
プラス緩和措置	0	1	123	124

※合併・退出となった病院も含む(退出病院に関しては退出前の最新データを使用)

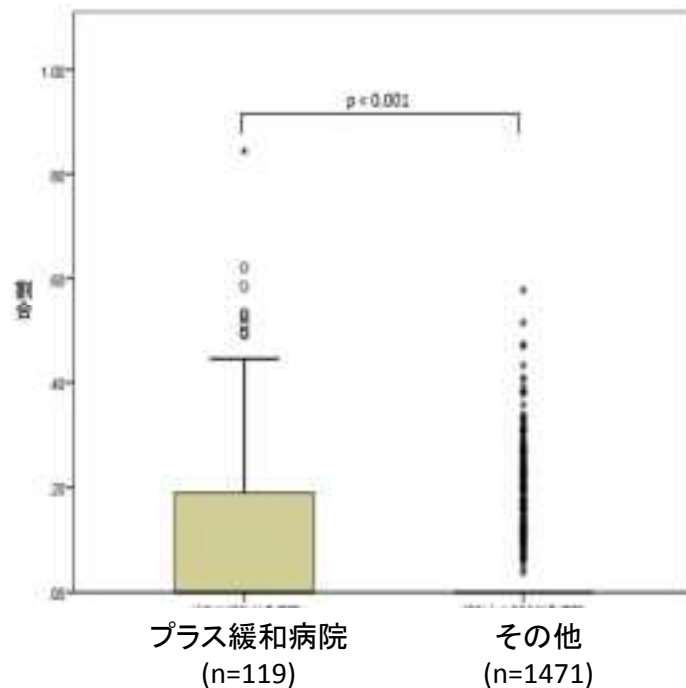
プラス緩和病院の病棟種別に関する実態

- ・ プラス緩和病院は、全病床にしめるDPC算定病床の占める割合が低い傾向が見られ、地域包括ケアや療養が占める割合が高い医療機関がある。

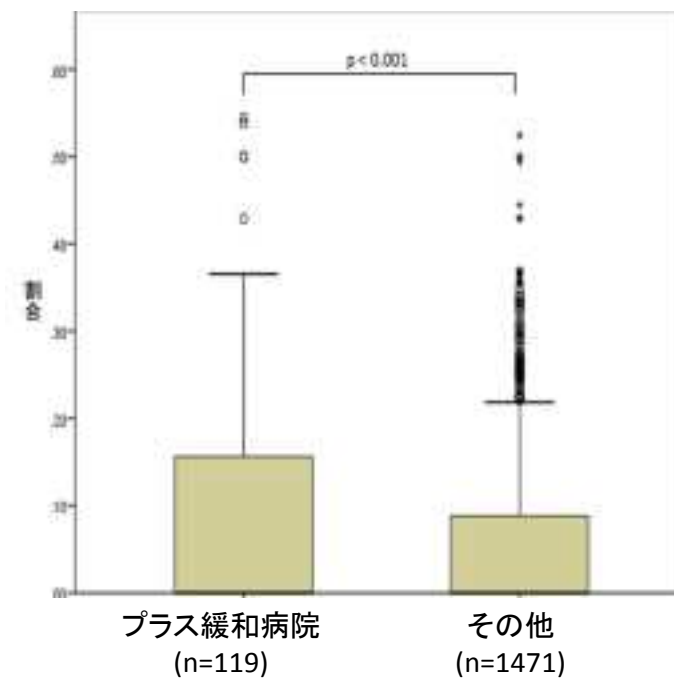
一般病棟の占める割合



療養病床の占める割合

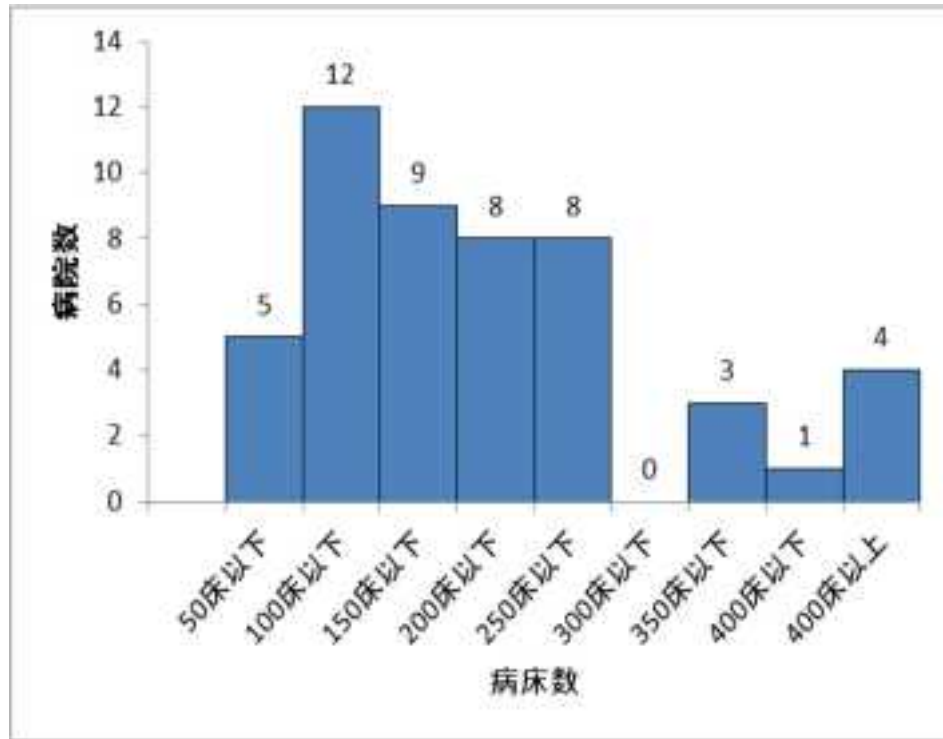
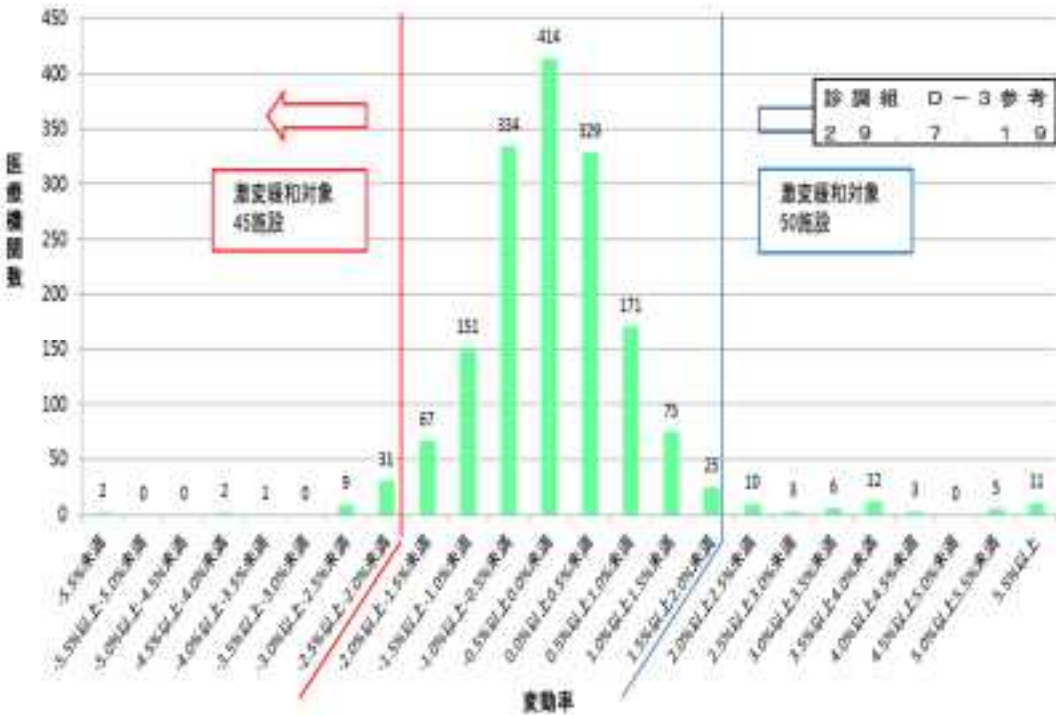


地域包括ケア病棟の占める割合



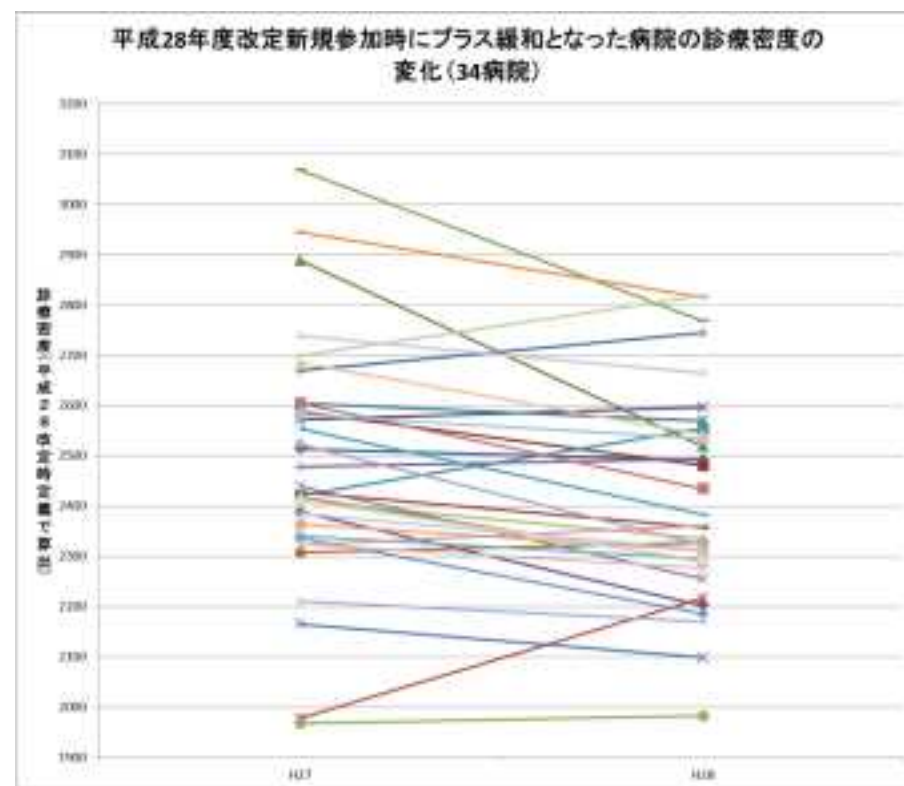
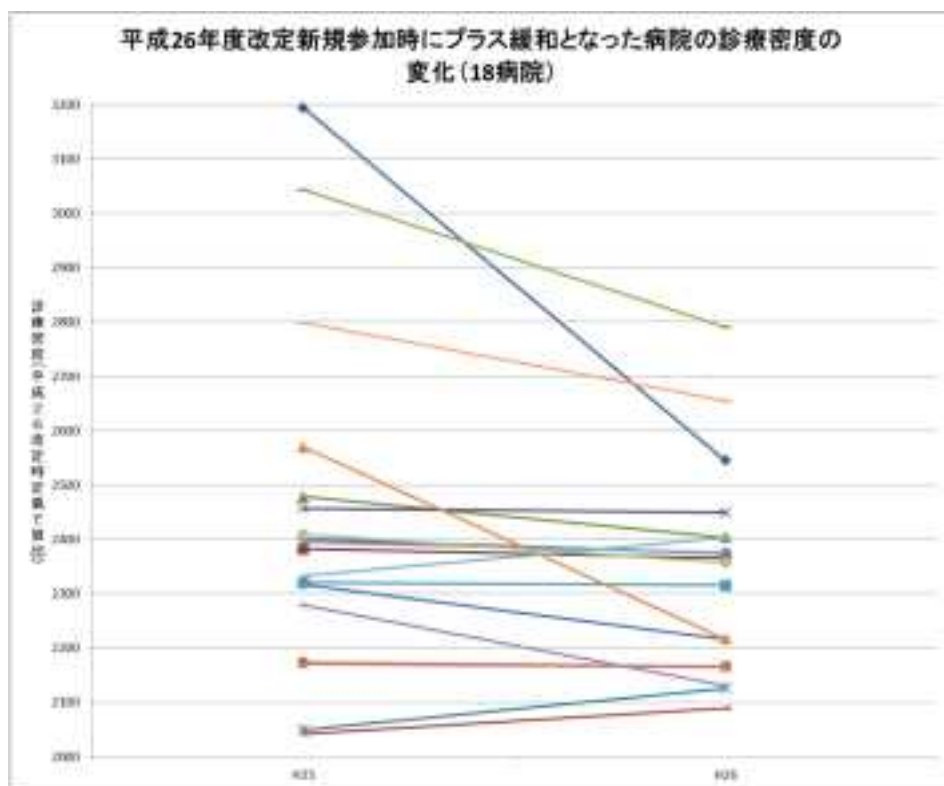
報酬改定に伴うプラス変動及びそのDPC算定病床規模

- ・ 報酬改定に伴う変動で、プラスの激変緩和の対象となる医療機関は50病院。
- ・ DPC算定病床は少ない傾向が見られたが、400床以上の医療機関も存在する。



DPC/PDPS参加前後の診療密度の変化

- 平成26年度改定時は18病院中15病院が、平成28年度改定時は34病院中25病院が制度参加後に診療密度を下げている。



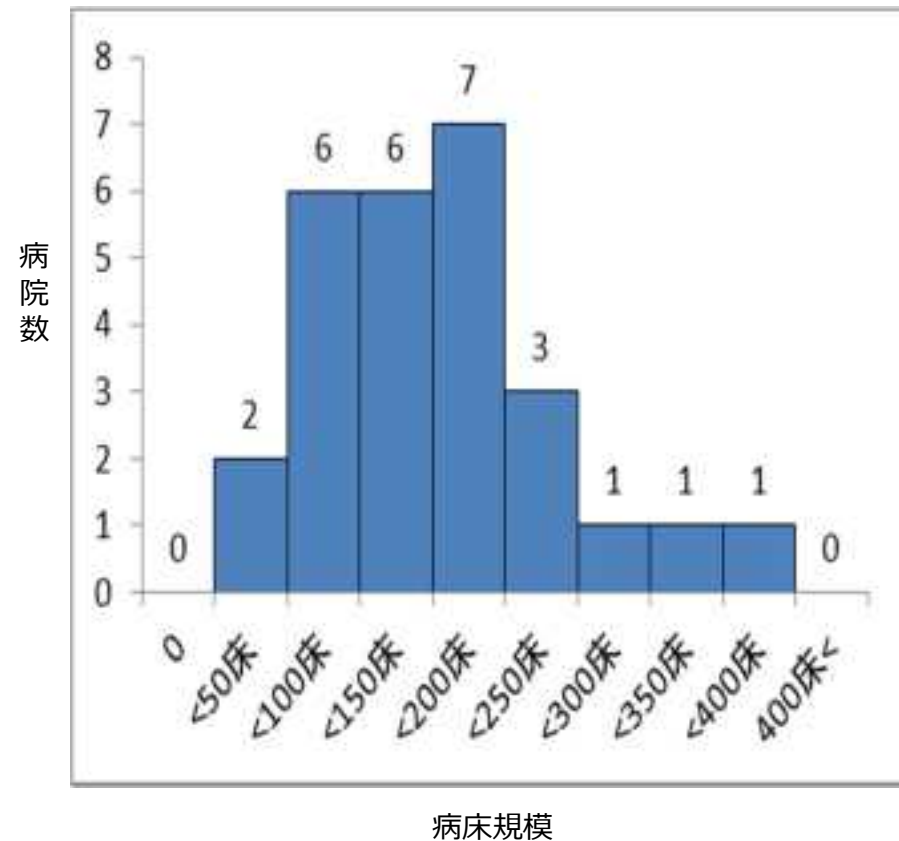
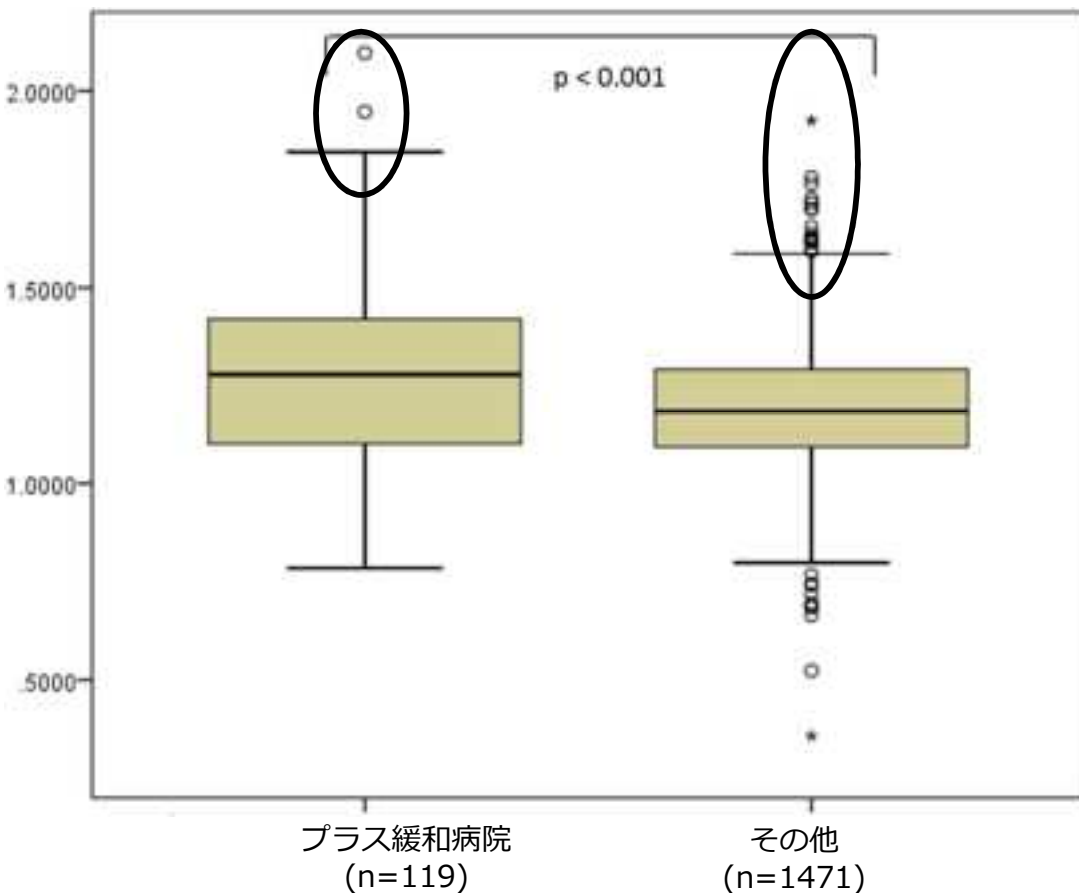
プラス緩和となった医療機関の平均在院日数

- 医療機関毎に全国の平均在院日数に対する当該医療機関の平均在院日数の比の分布を確認した。最も長い医療機関はプラス緩和病院であったが、プラス緩和病院以外でも平均より大きく外れて在院日数が長い医療機関は存在。
- 平均在院日数の長い医療機関はDPC算定病床が200床未満医療機関が多い。

プラス緩和病院とその他の病院の平均在院日数

病床規模別の平均より大きく外れて在院日数が長い医療機関数

全国の平均在院日数に対する平均在院日数の比



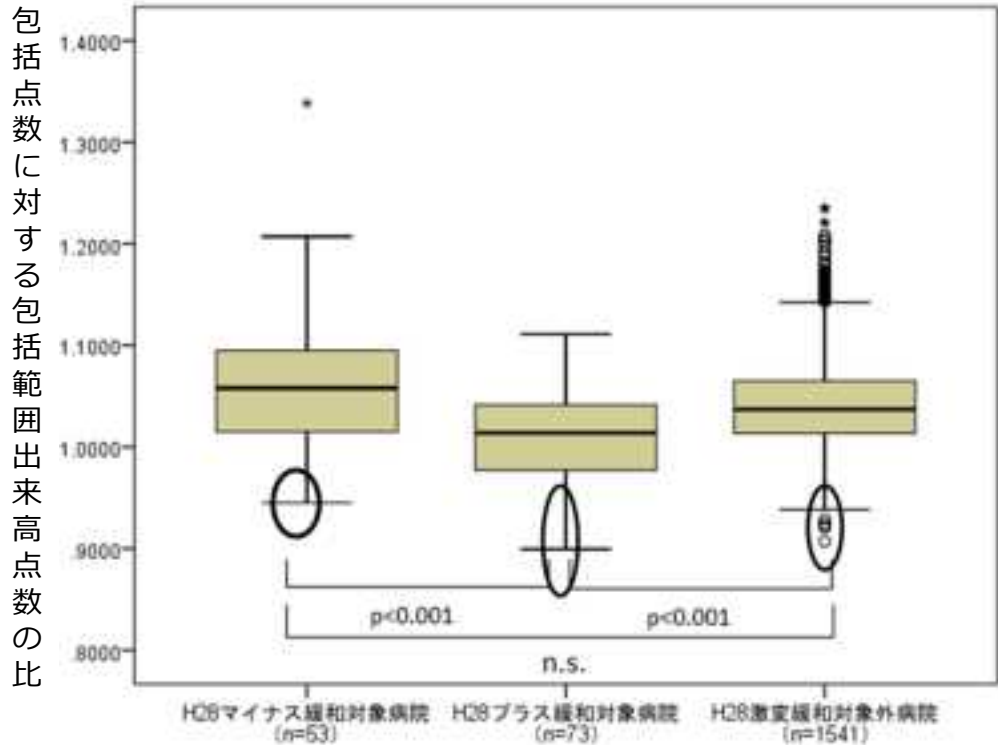
※平均より大きく外れて在院日数が長い医療機関：平均在院日数がその他病院の箱ひげ図の内柵の値より長い医療機関

激変緩和措置対象となった病院の診療密度

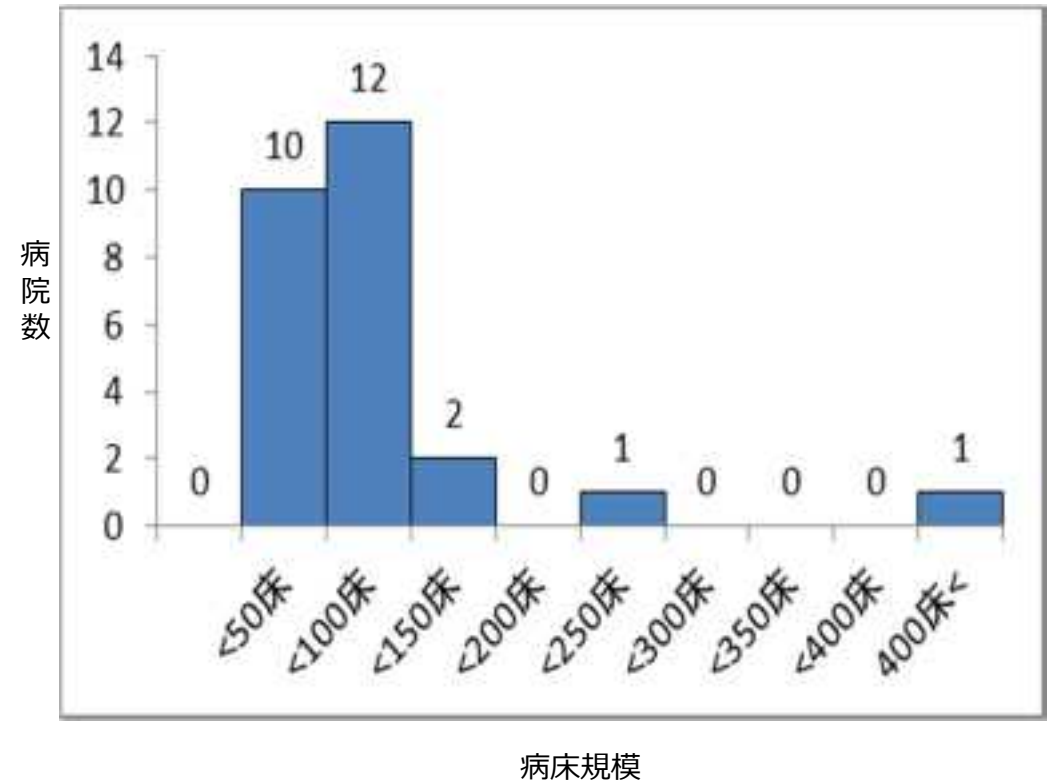
診調組 D-2別添3
29.2.9(改)

- ・ プラス緩和対象病院は診療密度が小さい傾向がある。
- ・ 診療密度が平均より大きく外れて小さい医療機関が存在する。

マイナス緩和病院、プラス緩和病院とその他の病院の診療密度



病床規模別の平均より大きく外れて診療密度が小さい医療機関数



※平均より大きく外れて診療密度が小さい医療機関：診療密度が、マイナス緩和病院の箱ひげ図の内柵の値より小さい医療機関

診療密度、在院日数が外れている医療機関

診調組 D-2別添3
29.2.9(改)

- ・ プラス緩和対象病院は診療密度が小さく平均在院日数が長い傾向がある。
- ・ プラス緩和対象病院以外でも、診療密度、平均在院日数が大きく外れる医療機関が存在。

